

## ゆめたろう子育て応援講座



武豊町提案型協働事業



Paka Paka  
土肥 克也

## 4回の連続講座+α

- 連続で行っている分、途中で休まれると理解しにくくなります。ご注意ください
- 第4週目は、個別対応に充てさせていただきます。

## まずは自己紹介

- 土肥 克也 (どひ かつや)
- 兵庫県出身
- Paka Paka 代表
- 武豊町手をつなぐ育成会 副会長
- 妻 息子2人
- 一言コメント

## 講義+グループワーク+α

- 講座は、講義+グループワークで進みます。
- 講座をよりよいものにするために、宿題を出しています。グループワークで使うので忘れないようにしてください。

## みなさんをお願いします

- 名前
- 所属
- 一言コメント

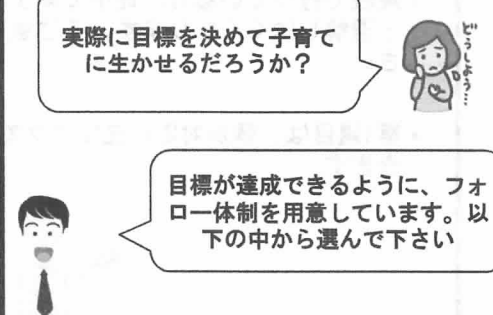
## 実際に目標を決めて子育ての方法を学んでいきます

- 講義だけでは身に付かないので、実際にお子さんが少し頑張ればできるのでは?という目標を決めます。
- 講座を通して、目標に達成するための子育てのコツをお伝えしつつ、子育てに生かしてもらいます

### フォロー体制を選べます

実際に目標を決めて子育てに生かせるだろうか？

目標が達成できるように、フォロー体制を用意しています。以下の中から選んで下さい



### ホームワーク 「ほめほめシート」

- ほめたときの様子を記入します
- \* だれを
- \* どんな場面で
- \* どのように
- \* 相手の反応は？
- 少し体験してみましょう
- \* 二人一組になって・・・

### フォロー体制を選べます

**オプション**

◎家庭訪問  
実際に目標を想定した時間帯に、自宅訪問し、その場で対応方法をお見せします。対応方法の説明をしつつ、アドバイスをを行います。

◎ビデオ検証  
家庭でビデオを撮って頂き、その映像をもとにアドバイスをします。

OR

◎電話・メール相談（標準装備）  
電話やメールで、目標に達成しにくいときに相談できます。

### 講義

「子どもの行動を理解しよう」

### 本日の予定


- 宿題 「ほめほめシート」の説明
- 講義 「子どもの行動を理解しよう」
- ワーク 「めあてシート」に記入します

### 家庭生活いろいろ


- 生活のこと（食事、トイレ、着替えなど）
- 人とのかかわり
- 遊び
- 外出（買い物や電車・バスに乗るなど）
- 社会的なこと（あいさつなど）

### 願いもいろいろ

「ごはんをちゃんと食べてほしい」  
 「なんでもひとりでできるようになってほしい」  
 「誰とでも遊べるようになってほしい」  
 「がまんできるようになってほしい」



### 「予定を変更すると、機嫌が悪くなります」



きっかけ	子どもの行動	かかわり
子どもの好きなプールの日 雨が降る「プールないよ」	「いや！！ プール～～！」 大きな声で泣く	「ないといったら ないの！」 叱る


結果は？

### 「どうやって」教えよう？

- まずは、日常のさまざまな行動がどのように起こっているのかについて知る必要があります
- そこには、適切な行動を増やしたり、気になる・困っている行動を少なくするためのヒントがかくされています
- この行動のしくみは、私たちすべての日常生活に活用できることです

※ふだんの生活を振り返っていきましょう


### 「食事中にじっとしていません」



きっかけ	子どもの行動	かかわり
子どもの好きなテレビ番組 好きなおかずは食べ終わった	立ち歩く テレビを観ている	「座りなさい！」 叱る イスに連れ戻す

結果は？

### 「遊びをやめさせようとすると大きな声で泣き続けます」



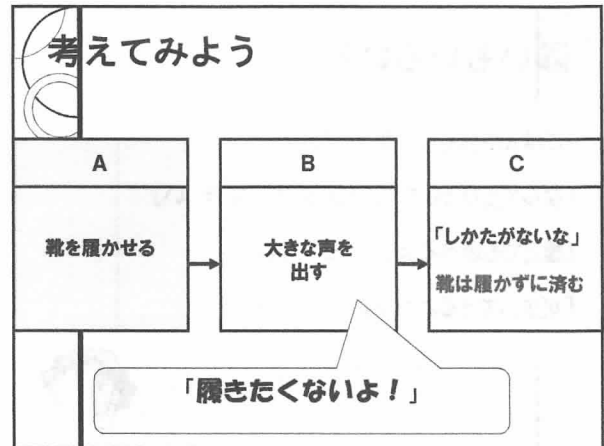
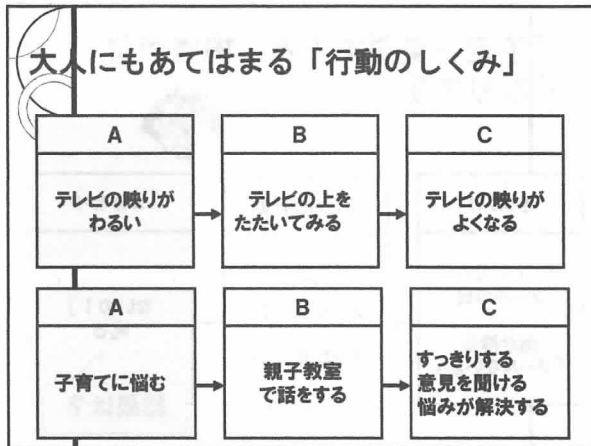
きっかけ	子どもの行動	かかわり
遊んでいる 「おかたづけ」と言われる	「いやー！」 大きな声で泣き続ける	「ダメ！」と叱る お母さんが来て、おもちゃを片付ける

結果は？

### 行動を理解するために

- どんな行動も、それだけが突然起こるわけではありません。
- これには、「ABC分析」とか「機能分析」という考え方があります。

A	B	C
行動の手がかり・きっかけ	行動	行動の後のかかわり・結果

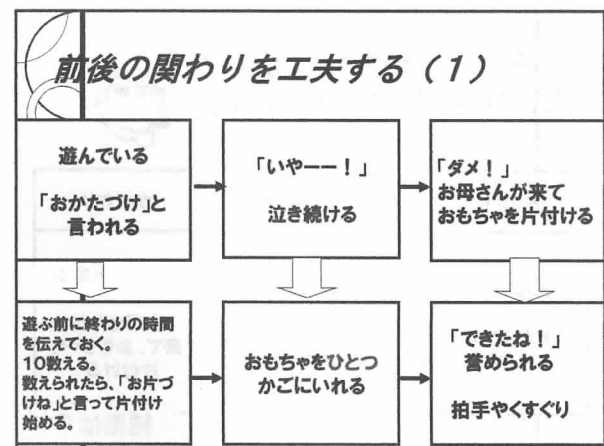
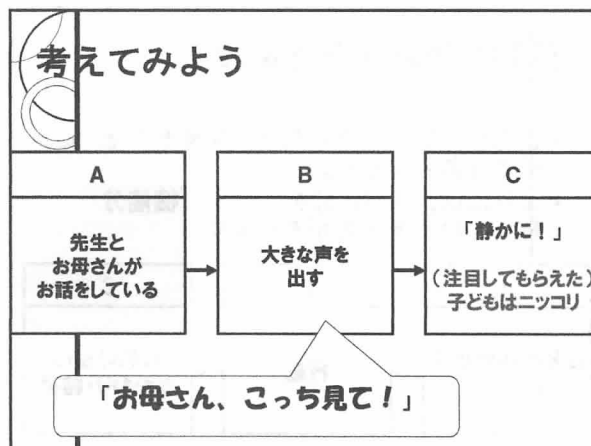


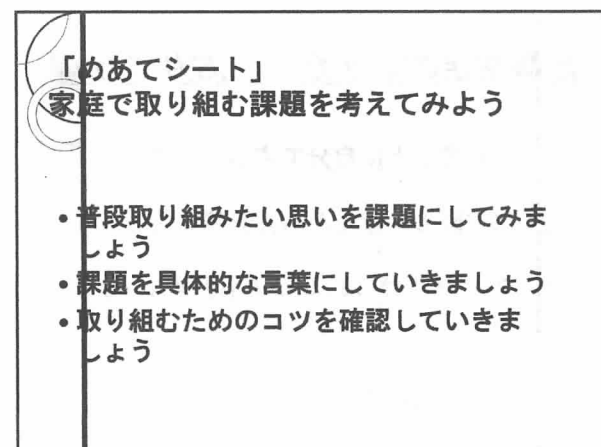
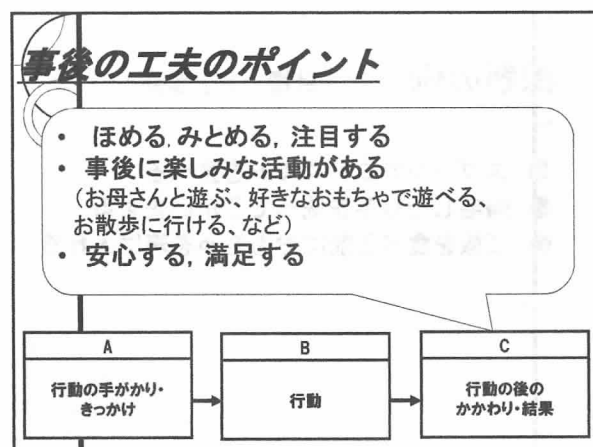
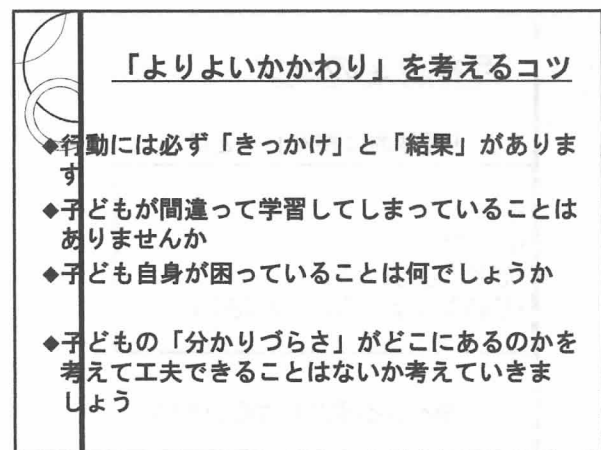
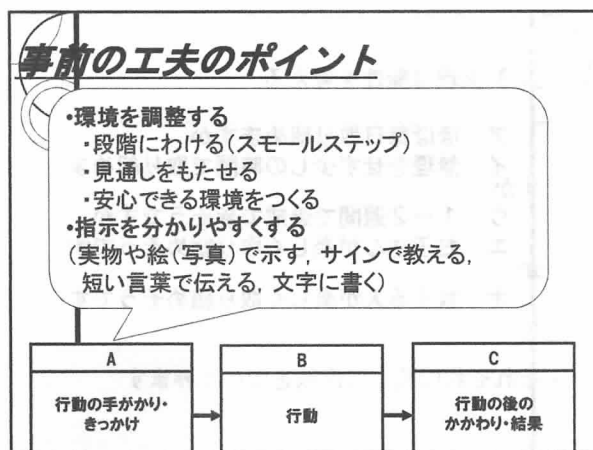
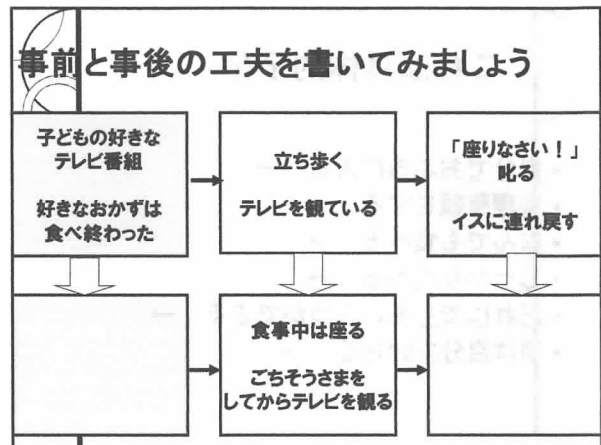
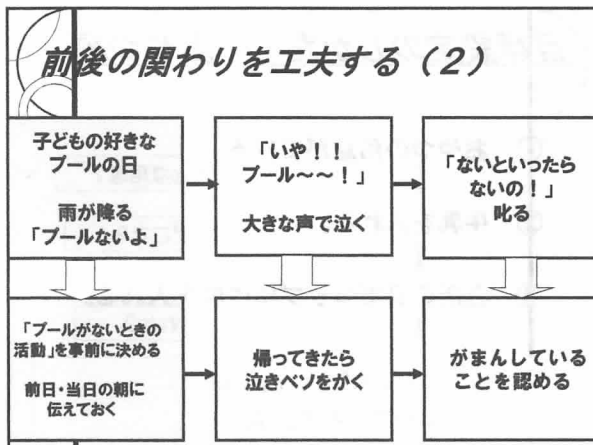
### 子どもの行動を考える

- 子どもの行動は何がきっかけで起きているのでしょうか
- 子どもの行動からわかる、「子どもからのメッセージ」は？
- 子どもの行動のあとには、子どもにとってどのような結果やかかわりが待っているのでしょうか

### 行動の前後に目を向けると

- 同じ行動（例えば、「大きな声を出す」）も状況によって、いろいろな意味があることがわかってきます。
- 行動の前の手がかりや後の関わりは、周りの状況の変化です。
- 複雑すぎて気づくのが難しい場合もあります。
- しかし決してないわけではありません。





### これは具体的??

- 自分でお風呂に入る →
- 整理整頓をする →
- なんでも食べる →
- しっかり食べる →
- だれにでもあいさつができる →
- 朝は自分で起きる →

### 目標設定のしかた おやつ編

- ① おやつを用意ができる。 どんな用意?
- ② 牛乳を入れる。 どこで?
- ③ 台所の机でコップに牛乳を入れる。 だれと?

お父さんと台所の机で  
コップに牛乳を入れる。

### 目標設定のコツ

【1】「具体的に書く」とは

- いつ
- どこで
- だれといっしょに
- どのような方法(てつづき)で

↓

目標とする姿がわかりやすい

### 【2】実現可能性を考える

ア	ほぼ毎日取り組めますか
イ	無理をせず少しの時間で取り組めますか
ウ	1～2週間で達成できそうですか
エ	お子さんが楽しく取り組めそうですか
オ	教える人が楽しく取り組めそうですか

- それぞれに関して点数をつけてみます

### 目標設定のしかた お片づけ編

- ① 自分のことは自分です。 どんなことを?
- ② 保育園のかばんから弁当箱を出す。 いつ?
- ③ 帰ってきた時にかばんからお弁当箱をだす。 どこに?

帰ってきた時に  
かばんからお弁当箱を机に出す。

### 課題の例 (「目標一覧」参照)

- スプーンでヨーグルトを食べる
- 帰宅したら手を洗ってうがいをする
- ご飯を食べる前におもちゃを箱に入れる

など

### 【3】 取り組む優先順位 を決めましょう

- 実現可能性はどれくらい？
- 環境の調整がしやすい活動
- 場面の設定がしやすい活動  
毎日する内容だと、取り組む機会が増えます
- 達成しやすい活動を選ぶ  
あと一歩でできそうなものを
- コツは徐々にレベルアップしていくこと

### 本日のグループワーク

- 「めあてシート」に記入をします
- 「目標設定一覧」を参考に
  - \* あと少しでひとりでできそうなこと
  - \* 親子で一緒に楽しめそうなこと
- 記入したものを次回までに変更してもOKです

### 次回は10月15日（火）です


- 次回の講義は「強化と記録の大切さ」です
- グループワークは、「ほめほめシートと目標について」
  - \* ほめほめシートの報告をしてもらいます。
  - \* 目標について報告してもらいます。
- ⇒ 次回までに宿題しておいてください。

※次回、「目標設定シート」、「いっぱいほめようシート」をお持ち下さい






## ゆめたろう子育て応援講座 2日目



武豊町提案型協働事業



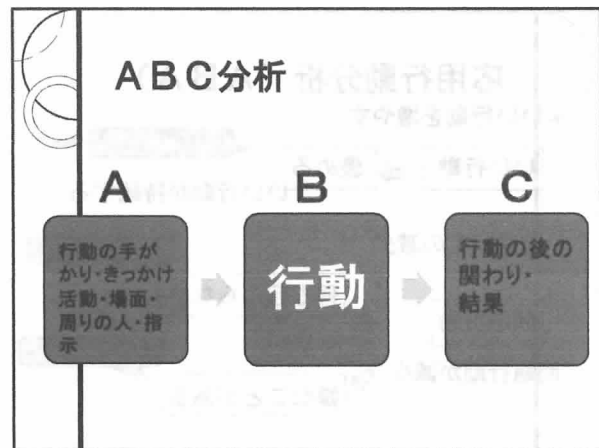
Paka Paka  
土肥 克也

### 前回の復習

- 行動には前後の関係があり、なぜそうするのか子どもにとっては理由があることを学びました
- 前と後のかかわりの工夫・配慮で、困った行動をかえていけたり、ほめる機会を増やしたりすることができます
- 目標を具体的に書くことで、お子さんに身につけてほしい力や改善してほしいことが分かりやすくなります

### はじまる前に

- 近況報告
- 今日の気分



### 本日の予定

- 「ほめほめシート」「めあてシート」のご用意を
- 講義 「強化と記録の大切さ」
- グループワーク
- 「ほめほめシート」、「めあてシート」

### 「めあてシート」

- どのようなめあてにしましたか？
- 1人1人みんなで考えていきたいと思えます。
- 質問があれば遠慮なく

## 講義「強化と記録の大切さ」

- 強化って何？  
=行動を持続させるために、行動の後に提示するもの

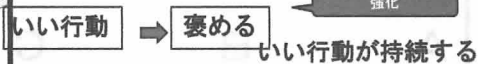
ABAの原理と共にお話します。

## 具体的／目に見える行動はどれでしょう

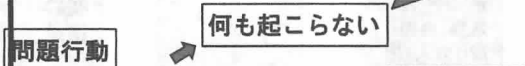
- タケシが机をたたいた
- レンジはやさしい子だ
- ハナコはかんしゃくもちだ
- タロウはいつもより落ち着かない
- ジロウは食事中に5回席を立った
- ゴロウは気持ちを表現するのが下手だ

## 応用行動分析（ABA）

いい行動を増やす



▶ 問題行動の減少



## いい行動を増やすには

- リッチな環境
- 習得しやすい行動（目標）を選ぶ
- 作戦と見直し

## 行動って何？

- 具体的／目に見える

- 問題行動もさまざま  
困った行動・芽生え行動

## リッチな環境

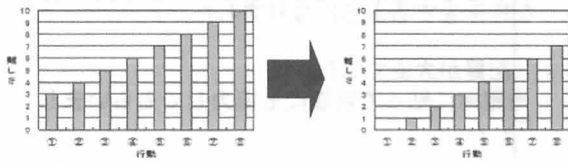
- 日常生活の中で
- 指導の機会が組み込まれている
- ほめられるチャンスが多い



結果に「褒める（大好き）」工夫を行う

## なぜ習得しやすい行動を選ぶのか？

### ・適応行動の階層表



習得しやすい行動をマスターすることで、  
習得しにくい行動をマスターしやすくなる。

## 褒める基準

- がんばってできたこと
- できていること
- できかけていること
- 援助ありでできたこと

## P D C A サイクル

・Plan 計画

・Do 実行

・Check 評価

・Action 改善

## 「ほめほめシート」

- だれを、どんなときにほめましたか？
- ほめた時の相手の反応は？
- 今回の宿題を通して、気づかれたことは  
どんなことですか？
- 司会と発表者を選んで下さい

## 強化（大好き）

- ごほうび
- 大好きなこと
- 快感なこと

強化子/好子

- 行動が増える（持続する）ことが大切
- 自己肯定感を育てるのに繋がる

## 強化子（大好き）探しの旅

活動・もの	具体物	程度	活動の様子
例 読む	絵本を読む	アンパンマン	ほとんどいつも 集中して読む
DVD	仮面ライダー	家に帰るとい つも	自分で選択し て1日1本見る
くすぐり遊び	お父さんと	父が家に帰る といつも	何度もして欲 しそうに要求 する

### お子さんの強化子は

活動・もの	具体物	程度	活動の様子

### 講座参加者の感想から

- 「子どもの理解が難しいときは、より具体的な指示をするようになりました。」
- 「記録が大変でした。冷蔵庫に貼って家族にも協力してもらいました。」
- 「指示が通らなかったときなど、その場でメモするようになりました。そうすることで子どもの姿が分かってきました。」

### 記録の意味 (記録用紙)

- 作成した手続き(かかわり)が子どもに合っているかどうかを知るために、記録をつけることはとても大切です。
- 記録をとり続けることは大変ですが、子どもが変わっていく姿が確認でき、確実な定着につながっていきます。
- 子どもがつまづいている要因を明らかにすることができ、まちがった方法を長く続けるという事態から逃れられます。
- 無理のない、やりやすい記録のしかたを工夫することもポイントです。

### ホームワーク

- 「めあてシート」で定めた目標に対して記録をつけてみてください。
- 記録の付け方を学ぶものなので、目標が達成していなくても構いません。

### セルフチェック (記録用紙「あなたの行動」)

- 子どもにわかりやすい指示ができましたか？
- 子どもができない時、上手に援助ができましたか？
- 子どもがうまくできたとき、子どもにとって喜ばしい方法でほめられましたか？

• ご家族や知人と、取り組んだことや子どもの様子について話しましたか？

• お父さんやお母さんが楽しんで取り組めたでしょうか？

### 次回(10月29日)のお知らせ

- 次回の講座の内容は、「かかわり方を考える」です
- 次回「めあてシート」、「記録用紙」をお持ちください

# ゆめたろう子育て応援講座

## オプションについて

Paka Paka 土肥 克也

### ビデオ検証の場合

- 記録の提示**
  - どこで行き詰っているのか把握するためにも、事前に記録の提示をお願いします。
  - スキルの獲得だけではなく問題行動が伴う場合は、行動目標の変更を提案する場合があります。
- 撮影**
  - ビデオを利用して親子が課題を行っている様子を取ってください。(3脚や第3者を利用)可能であれば、1回だけではなく数回撮ってください。
- 検証**
  - 撮影されたデータをメールで送信するかCD-Rに入れて送ってください。
  - データを検証し、場合によっては数点質問する場合があります。
- アドバイス**
  - 支援のポイントや手だての工夫をお伝えします。

### フォロー体制を選べます

**◎家庭訪問**  
実際に目標を想定した時間帯に、自宅訪問し、その場で対応方法をお見せします。対応方法の説明をしつつ、アドバイスをを行います。

OR

**◎ビデオ検証**  
家庭でビデオを撮って頂き、その映像をもとにアドバイスをします。

**◎電話・メール相談 (標準装備)**  
電話やメールで、目標に達成しにくいときに相談できます。

### 個別訪問


- 記録の提示**
  - どこで行き詰っているのか把握するためにも、事前に記録の提示をお願いします。
  - スキルの獲得だけではなく問題行動が伴う場合は、行動目標の変更を提案する場合があります。
- 訪問時の下準備**
  - 訪問した際に、私が目標に対する指導が行えるように環境を整えて下さい。
  - (前) 手でシートにしている環境の工夫等。
- 実際の指導**
  - 行動目標に沿って支援を行います。チャンスは1回しかないためよく見てください。
  - 支援をした際、スキルの獲得だけではなく問題行動が伴う場合は、行動目標の変更を提案する場合があります。
- アドバイス**
  - 支援のポイントやなぜそうしたかを説明します。
  - そのほかの手だての工夫をお伝えします。

### 電話・メール相談


- ▶ 手がかり作成をしたのちに、1週間程度ご家庭で行ってみて行き詰ったり、質問等があるときに気軽にご相談ください。
- ▶ 電話：0569-77-0492 (平日の午前中をお願いします)
- ▶ メール：papakapa\_aba@yahoo.co.jp



## ゆめたろう子育て応援講座 3日目



武豊町提案型協働事業



Paka Paka  
土肥 克也

## 前回までの復習

- **行動・ABC分析**  
行動には「きっかけ」「行動」「結果」のかわりがあり、子供の行動には理由がある
- **強化**  
いい行動を伸ばすには、強化（大好き）することが大切
- **目標**  
具体的に書くことで、身につけてほしい力がわかりやすくなる

## はじまる前に

- Good & news

## 記録をつけていかがでしたか？

- 記録をつけて振り返ってみましょう。

## 本日の予定

- 講義「かわり方の工夫を考える」
- 「手立てシート」の作成

## 手立てシートとは

「事前の環境と事後のかわりを整理するもの」

- 環境の工夫
- 指示の出し方
- 困難な場合の援助の仕方
- 褒め方
- 達成基準

### 手立てシートなんで作るん？

- 事前にかかわり方を考え、わかりやすく伝えるための工夫ができます
- うまくいかないときに、どう関わればよいか明確になります。
- より適切なかかわり方が、明らかになります。
- 何どのようにほめればいいのか、明らかになります。

**かかわり上手になるための地図**

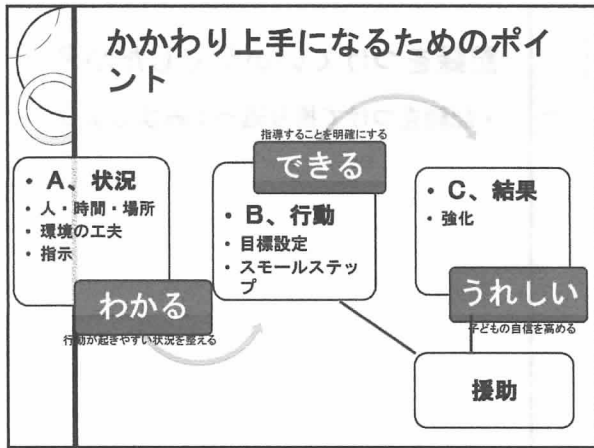
### 子どもの行動を小さなステップに分ける

◆いくつかの行動で成り立っている目標の場合、行動をいくつかに分け、それぞれの援助を考えます  
(例)

くつ下をはく  
※「てつぎ作成表」(見本)参照

手洗い  
折り紙 など

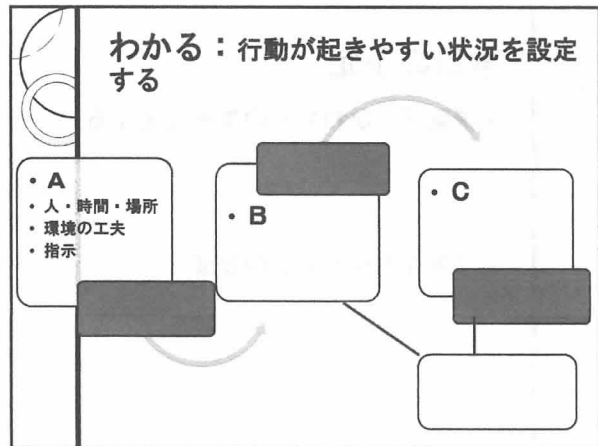
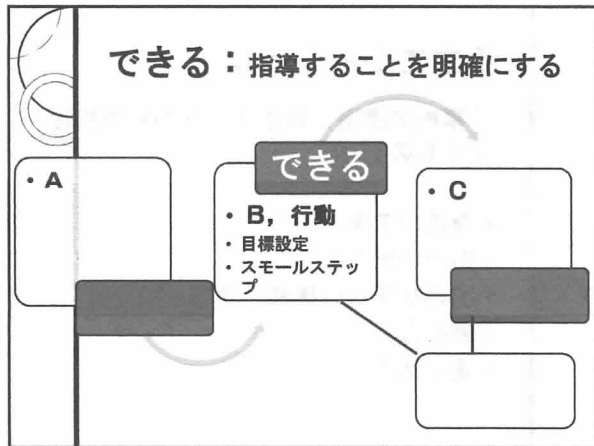
\*何げなくしていることでも、実はたくさんの行動で成り立っています



### 例) 自分の食器を流し台まで持っていく

#### 行動の流れ

- ① おぼんをとる
- ② おぼんに 食器を置く
- ③ おぼんを持って、流しまで行く
- ④ 流しに 食器を入れる
- ⑤ おぼんを片付ける





## ・人・時間・場所を考える

- 子どもにとっても、大人にとっても、取り組みやすい条件（時間・場面）を設定しましょう。
- 最初は、できるだけ、同じ人、同じ時間、同じ場面で取り組みましょう。（子どもにとって今から何をするのか分かりやすい）
- 同じ人、時間・場所でできるようになったら、人や時間、場所を変えてできるように少しずつステップアップしていきます。

- 言葉かけや指示が伝わらないときは、なぜ伝わらないのか理由を考えてみましょう。

- ①聞こえていない
- ②聞こえているけど理解できない
- ③聞こえていて理解できるけどやりたくない

## 環境の工夫

- 物理的に環境を整える（例）
  - ・何をすれば良いのかの手がかり（かごや箱、フックや棚など）
  - ・見通しの工夫（歌をうたう、スケジュールや手順表など）
  - ・楽しく取り組めるための工夫（好きなキャラクター、虫の名前をかく等）
  - ・手順を簡単にする（洗剤をつけたスポンジ）
  - ・必要でない物を取り去る（テレビを消す、おもちゃや菓子をしまう）

## 指示を減らしていくには？

- 指示を徐々に減らしていく

（例）トイレの水を自分で流す  
（おしっこがおわる）「水を流してね」  
（直接指示＋指さし）

↓  
（おしっこがおわる）「次は？」  
（間接指示＋指さし）

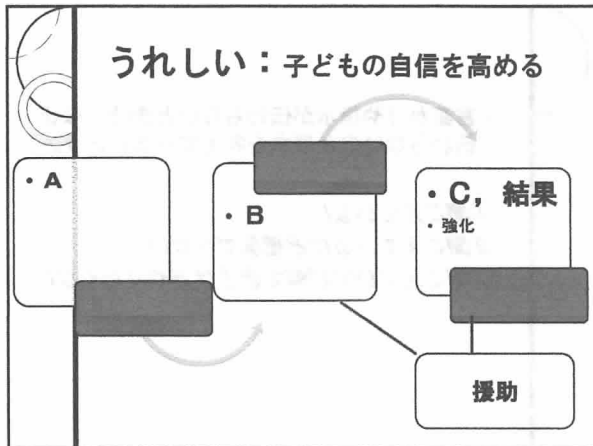
↓  
指さしをなくして徐々に声かけを少なく

## わかりやすい指示

- 指示する前に子どもの注意をひきつけておきます
- 指示するタイミングを考えておきます。  
（例）テレビを見ている時、おもちゃで遊んでいる時 X
- 言葉は、短く、はっきりと、具体的に  
（例）「だめ、おります。イスにすわります」 O
- 言葉以外の手がかりも工夫してみましょう  
（例）絵、写真（広告）、マーク、文字

- 子どもの様子や目標によって、手がかりとして残しておく指示もあります  
（例）

- ・ 歯磨きの手順カード
- ・ 靴箱の名前シール
- ・ 家に帰ってからすることのチェック表
- ・ 「おりがみ」の折り方の図面など



### ちょうどいい援助の仕方

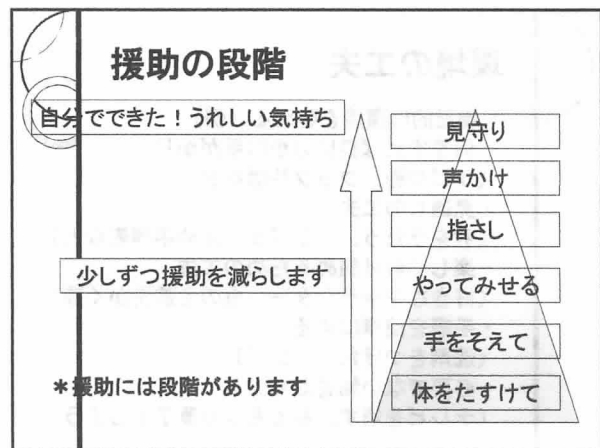
- 同じ援助の繰り返しは避けます  
(失敗経験を繰り返さないために)
- 援助の段階を変えていきます
- 肯定的なことばかりを
- 子どもの行動を待ってから援助しましょう  
(事前にどの程度待つのか決めておく)
- 援助の量を子どもさんの様子に合わせていきましょう  
(多すぎると指示待ちになる、やる気を失う)  
(少ないと失敗経験から自信をなくす、やる気を失う)

### できたときのほめ方

できたときには……

- 直後にほめるようにしましょう
- 結果だけでなく経過も大切にしましょう
- 子どもの喜ぶ方法でほめましょう
- どんな言葉かけがよいでしょうか
- 言葉だけでなくほめ方を工夫しましょう

※ ほめられたらどんな気持ちになりますか？



### 例) 自分で食器を流しに持っていく

**強化**

「ありがとう」  
テレビを見れる

### 例) 自分で食器を流しに持っていく

行動の流れ	援助
① おぼんをとる	「おぼん、使ってね」 指さし
② おぼんに 食器を置く	お皿を置くのを見せる
③ おぼんを持って、流し まで行く	「ヨーイ、ドン！」 指さし
④ 流しに 食器を入れる	「流しに入れて」 指さし
⑤ おぼんを 片付ける	「おぼん、片付けて」 指さし

## 本日のグループワーク

- 「てつづき作成表」に記入していきます
- まずは、⑦「できたときのほめ方やかかり方」まで、グループで話し合いながら記入してみてください

## ホームワーク

- 今日、作成した「てつづき作成表」に基づいて、家庭で取り組み、「記録用紙」に記入します
- 大変でしたら家族の方に協力してもらいましょう。

## 目標の達成基準

- 子どもの様子に合わせて、どこまでできたら「目標達成」にするかを決めておくことは大切です
- (例) 援助なしで連続5回以上できたとき
- ⇒ 達成できたら、次の課題を考えます
- \* スモールステップで少しずつ、着実にできることを増やしていきましょう

## 次回(11月19日)のお知らせ

- 回りの講座の内容は、「ほめ方・しかり方を考える」です
- 次回「記録用紙」をお持ちください

例) 自分の食器を流しに持っていく

目標の達成基準
5日間 連続で 指示ありでできたら



## ゆめたろう子育て応援講座 最終日



たけとよ  
パートナーシップ

武豊町提案型協働事業




Paka Paka

Paka Paka  
土肥 克也

## よくある質問

叱っても子どもが笑っています  
何度注意しても、大人の顔色を見ながら繰り返します  
お父さんが叱るとすぐにやめますがまた繰り返します・・・




## 本日の予定

- 「しかるについて考える」
- 記録の振り返り
- 座談会
  - 日頃こんなことを考えています。
  - 日頃こんなことを楽しんでいます。

子どもにとって、「叱った」ことがどのように伝わっているのでしょうか？

こちらの反応が子どもにとっては喜ばしいことになっていませんか？

相手によって子どもの行動が変わる場合、どのような意味があるのか考えてみましょう



## しかることの悩み

- いくら注意してもやめてくれない
- しかっても子どもは笑って楽しそう
- 不適切な行動は無視したほうがいいの？
- だめなこともしかってはいけないの？

今日はこれらについて考えていきましょう

## しかっているけど効果がない？


- 子どもからみれば、「しかられた」ことになっていない場合もあります
- 何をしかられているのか理解できない場合もあります
- やってはいけないとわかっているけど、次はどうすればいいのか理解できていない場合もあります  
⇒ふるまい方を教える

**よくある質問**

「やめてほしい行動は無視したほうが良いのでしょうか？」

「無視したらもっと大きな声で泣くので言うことをきいてしまいました・・・」


どうしたら良いのでしょうか？



**よくある質問**


何度言ってもわからないとき、たたかないと言うことを聞かなくなるのではと心配です。

どうしたら良いのでしょうか？




無視すると一時的に行動が激しくなることがあります。

激しい行動の後に要求をかなえてもらえたり、子どもにとってプラスのかかわりがあると、子どもは「これだけ泣いたらきいてもらえる」ということを誤学習してしまう場合があります。



「罰」だけでは、子どもはどうしたらいいのかわかりません。

「してはいけないことを理解する」のではなく、「たたく人がいるときはしなない」ということを誤学習してしまう場合があります。



**ほめる、認める、目標を持たせる**

- 不適切な行動は無視するだけでなく、「何をすればよいか」を具体的に示しましょう
- 無視するだけでなく、望ましい行動をみつけて積極的にほめたり認めたりします
- 望ましい行動が生じやすい環境を工夫します

しかるだけでなく望ましい行動がとれるよう工夫し励まし認めていく

手がかり・きっかけ

行動

結果や関わり

```

    graph LR
      A[手がかり・きっかけ] --> B[リモコンをさわる]
      B --> C["「だめ！」  
リモコンを  
とりあげられる"]
      A --> D[リモコンを  
触らずに過ごす]
      D --> E["お母さんと  
一緒に遊ぶ  
「楽しかったね」"]
    
```

## なぜ、その行動が起こっているのか 考えてみる



- (例) リモコンをさわる
- 手先がまだ未熟なので、リモコンは押したら遊べるからおもしろい(他の玩具では遊びにくい)
  - その時間が何もすることがなく、何をしたらいいのかも分からない
  - 目の前にいつも置いてあるので、つい手にしてしまう
  - リモコンを触ったら、大人が注意しに来てくれる

## 本日のグループワーク

- お互いの記録を見合って、取り組んだことを話し合ってみましょう
  - \* 達成基準に達していたら・・・
    - 工夫したことなどを教えてください
    - ふたつめの課題へ
  - \* 達成基準に達していないときは・・・
    - どこが難しかったかみんなで考えましょう
    - やり方をかえて取り組む・・・手続きの見直しへ

## 「ダメ」を教えたいとき

どうしてもやめさせないといけないこと

- \* 自分やまわりの人を傷つけること
- \* まわりの人に迷惑をかけてしまうこと
- \* 物を壊したり傷つけたりすること
- \* 生活の妨げとなるようなこだわり

- だめなことはできるだけ短い言葉で伝え、次にすることをすぐに伝えます
- (例) 「(立ちません。)座ります。」
- 一貫した大人のかかわりが必要です

## ゆめたろう子育て応援講座 最終日にあたって

日頃こんなことを考えています。  
日頃こんなことを楽しんでいます。

などなど

## まとめ

- 子どもの行動の前後の関係を見ていくと、なぜ起こるのか理由がみえてきます
- 望ましくない行動の中には、実は子ども自身が困っていることがあります
- 環境を整えたり、かかわりを工夫することで良い行動に向かわせたり、望ましくない行動をしないように変えていくことができます

## 今後は・・・PDCAサイクルを



**うまくいかなかった時**

- 子どもが求められていることをわかっていましたでしょうか？
- 子どもにとって難しすぎることを要求してないでしょうか？
- 望ましくない行動をしたときのかかわりが、結果として子どもを喜ばせることにつながっていないでしょうか？
- ほめたことが子どもに伝わっているでしょうか？



**今後は・・・**

- ・面倒くさい？

↓

小さなことからコツコツと  
ポイントの1つを着目して

↓

**子どもの将来に繋がります**





# 手立てシート

あなたの氏名 ( )

開始日 年 月 日 ~ 月 日

学習者名

課題名：  
(具体的に)

① 誰が (かかわる人)	② いつ	③ どこで (教える場面)
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

④ 指示やてがかり

環境の工夫	ことばがけ・提示するもの	準備するもの
-------	--------------	--------

⑤ 目標とする子どもの行動

行動の流れ	⑥ 困難な場合の援助のしかた

⑦ できたときのほめ方やかわり方

⑧ どうなればこの目標を  
達成できたといえますか 例 ( 連続10回ひとりできたら達成、など)

<input type="text"/>
----------------------

NO

達成できないときは①に戻って順に見直しをしてみましょう

YES

**修了!**  
次の目標や課題へ





# 手立てシート（見本）

あなたの氏名（ ）

開始日 〇〇年 7月17日 ~ 7月 29日

母

課題名：  
(具体的に) くつ下をはく

① 誰が (かかわる人) 母	② いつ 出かけるとき靴をはく 前	③ どこで (教える場面) 玄関
-------------------	-------------------------	---------------------

## ④ 指示やてがかり

環境の工夫 くつ下をたてにつぶした形で ふたつ並べて置く	ことばかけ・提示するもの 「くつ下はこうね」と声かけする くつ下を指さす	準備するもの くつ下
------------------------------------	--	---------------

## ⑤ 目標とする子どもの行動

行動の流れ	⑥ 困難な場合の援助のしかた
① 床にあるくつ下を持つ	「くつ下はくよ」と指差す
② くつ下の口を広げる	手を添える
③ つま先から足を入れる	手を添える
④ つま先まで足を入れる	「はしっこまで」と声かけ。手を添える
⑤ かかとの位置を正す	手を添える
⑥ くつ下をひっぱり上げる	「引っ張ってね」と声かけ。手を添える

## ⑦ できたときのほめ方やかわり方

「よくできたね!」と両手を持っていっしょにバンザイする。

⑧ どうなればこの目標を  
達成できたといえますか 例 ( 連続10回ひとりできたら達成、など)

5日間 連続でひとりで履けたとき

NO

達成できないときは①に戻って順に見直しをしてみましょう

YES

修了!  
次の目標や課題へ





## 目標設定のために…〔課題の参考例〕

\*これまで講座に参加された方が実際に取り組まれた課題の例です

\*ここに挙げてあるのはあくまでも参考です

\*年齢によって課題は違ってきます

\*それぞれのご家庭で具体的に取り組めそうなことをイメージしながら課題を決めていきましょう

いつ	どこ	関わる人	目標とする活動（子どもの行動）
おやつ	食卓	母	スプーンをもって、ヨーグルトをすくって口に入れる
おやつの後	洗面所	母	手を洗う
夕食前	ダイニング	母	自分のおはしを台からとってくる
夕食後	ダイニング	母	ごちそうさまをしたあと、食器を流しに持っていく
朝食のとき	ダイニング	父	コップに牛乳を入れる
夕食のとき	食卓	母	お茶を自分で入れる
朝食の前	ダイニング	父	新聞をとってきてお父さんに渡す
外から帰ったとき	玄関	母	くつをそろえて上がる
出かけるとき	玄関	母	くつの左右を間違えずに履く
トイレの後	トイレ	母	トイレから出る前に手を洗う
朝出かける前	玄関	母	「いってきます」と家族のほうを向いて言う
朝出かける前	洗面所	母	はみがきをする
寝る前	こども部屋	父	「おやすみ」のあいさつをする
帰宅後	リビング	母	リュックからお弁当箱を出す
お風呂の前	洗面所	父	脱いだ服を洗濯カゴの中に入れる
帰宅後	トイレ	母	お尻を出さずにおしっこをする

# めあてシート（記入例）

〔あなたの名前〕

ご家庭で取り組んでみようと思われれる活動について、具体的に書いていきましょう。  
目標が具体的か、実現可能か、ということが達成のコツです。

## 〔1〕 具体的に書く

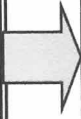
- ・ いつ
- ・ どこで
- ・ だれといっしょに
- ・ どのような手続きで



## 〔2〕 実現可能性を考える

実現可能性の5つの項目について、点数化します。(はい：1点、いいえ：0点)

- ア ほぼ毎日取り組みますか（1週間に5回くらい）
- イ 無理をせず少しの時間で取り組みますか（5分～10分）
- ウ 1～2週間程度で達成できそうですか
- エ お子さんが楽しく取り組みますか
- オ 教える人が楽しく取り組みますか（負担が少ない・イライラしない）



いつ	どこで (場所)	誰と一緒に (関わる人)	活動 (目標)	ア	イ	ウ	エ	オ	合計	順位
帰宅後	リビング	母	かばんからお弁当箱をだす	1	1	1	0	0	3	2
休日	台所	父	牛乳を入れる	0	1	1	1	1	4	1
夕食前	ダイニング	母・祖母	家族のお箸をテーブルに並べる	1	1	0	1	0	3	2
トイレ時	トイレ	母	おしっこの後、水を流す	1	1	0	0	0	2	4

## 〔3〕 取り組む優先順位を決める

合計点を算出して、得点の多いものから順位を書きましょう。